

支援を必要とする児童・生徒のための かながわ 支援ネットワークマップ

乳幼児期から学齢期、そして卒業後の生活までライフステージを見ずえた継続的支援を行うため、個別の支援計画の作成を通して関係者の連携協力を図ります。神奈川県では、個別の支援計画として「支援シート」の導入を進めています。

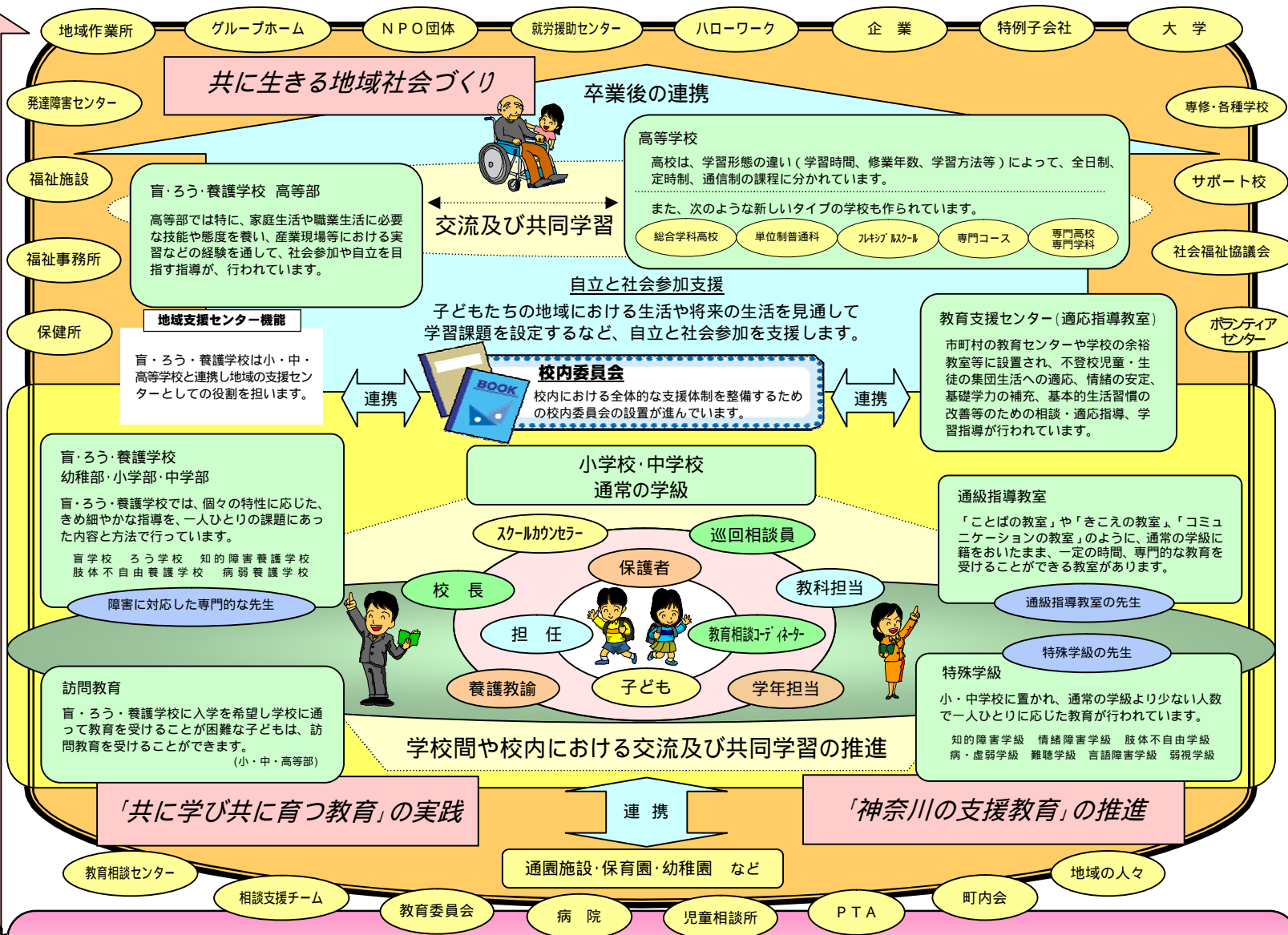
障害のある子ども、LD児、AD/H/D児、高機能自閉症児、また不登校の子どもなど、自らの力で解決することが難しい課題を抱えた児童・生徒の教育のためには、その子どもを支援する人々のネットワークが必要となります。担任だけでなく、学校全体、地域社会全体で子どもたちの成長を支える教育システムが必要です。そのため、個別の支援計画を作成し、子どもの教育に関わる人たちの情報の共有化を図ることが必要です。

「共に学び共に育つ教育」
神奈川県では障害のあるなしや在籍している学校種別にかかわらず、一人ひとりもっている能力を最大限いかしながら、可能性をより追求していく教育の実現を目指しています。

「神奈川の支援教育」
神奈川県では、平成14年3月に、これからの支援教育の在り方検討協議会から出された「これからの支援教育の在り方（報告）」を基本として、障害のある子どもを含め、すべての子どもたち一人ひとりがもつ独自の課題を「教育的ニーズ」としてとらえ、それぞれの子どもに応じた働きかけをする「支援教育」を推進しています。障害のあるなしにかかわらず、子どもや保護者が学校・家庭・社会生活で苦戦してしまう状況があります。その苦戦してしまう状況を自力で解決することが難しい子どもたちに対し、「学校・家庭・社会という広い視点」と「将来の生活という視点」に立って環境との調整（苦戦しない状況）を進めていくことが「支援教育」といえます。

「教育相談コーディネーター」
子どもたちのもつ多様な教育的ニーズすべてに担任一人では応えることは非常に難しいため、「教育相談コーディネーター」が核となり協働チームを編成し、支援を展開していく学校づくりが必要になってきています。総合教育センターでは、小・中・高等学校の先生を対象に「教育相談コーディネーター養成講座」を行っています。また、コーディネーターの活動を支援する人材を養成するため、小・中学校と盲・ろう・養護学校の先生を対象に、「スクールサイコロジスト養成講座」や「相談支援チーム研修講座」を行っています。

制作：神奈川県立総合教育センター（H18.3）
〒251-0871 藤沢市善行7-1-4
電話（0466）81-4759（総合企画課 直通）
このマップは、総合教育センターのホームページからダウンロードできます。
<http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/>



子どもたち一人ひとりが輝くために
学校どうしのネットワークづくりそして学校と地域のネットワークづくりを推進しています。
子どもたちの健やかな成長を願っていっしょに大きな **ウェブ** を作りましょう。

